

バンダイ先取りウオッチング! ④

「ロボマガ」記者・城井田 勝仁

同一周波数なのに混信しないでバトルできる 「R/Cポトリス」



標準価格 各5,980円

大きさ 全長約70mm

電源 単3アルカリ乾電池4本(別売り)

手のひらサイズのタンクによる赤外線バトル!

「ポトリス」というのは、近頃流行のオンラインゲームである。1999年に韓国で生まれ、2001年から日本でもバンダイゲームベンチャーによってサービスが開始された。チームを組んで対戦するタンク(戦車)バトルで、多彩なステージやアイテム、変化する風向きや気象条件などが加味されている。このため、ルールはシンプルながら、見た目以上の奥深さがあり、日韓の両方で人気のオンラインゲームとなっている。

そのオンラインゲーム「ポトリス」の世界は、今年4月からはテレビアニメ「無限戦記ポトリス」(テレビ東京系列で毎週土曜日朝7時半から放送中)にもなった。こちらは、ポトリス・ワールドの支配をたくらむダーク・ポトリスの軍団と、それを阻むポトリス・ナイツたちの戦いが描かれるものだ。オンラインゲームの「ポトリス」とはまったく雰囲気異なるものだが、タンクバトルを中心に展開される点は同じである。

さて、今回バンダイから発売された「R/Cポトリス」だが、雰囲気としてはオンラインゲーム「ポトリス」と、テレビアニメ「無限戦記ポトリス」の中間にあたる。

「R/Cポトリス」の各タンクは、テレビア

ニメ「無限戦記ポトリス」をもとにデザインされている。シリーズの初回として発売されるのは、ポトリス・ナイツのメンバーである「ドラゴンブルー」と「デュアルロゼ・キャリアー」「タイガーバレル」そしてダーク・ポトリス軍の「黒魔龍」の4種類である。今後、テレビアニメ「無限戦記ポトリス」に登場するタンクをもとに、ニューモデルが順次発売されることになっている。

それらのタンクを使っでの楽しみ方は、オンラインゲームの「ポトリス」に近い。最大8人までの対戦が可能な点や、チームを組んで戦える点など、オンラインゲーム「ポトリス」の雰囲気そのままだ。もちろん、テレビアニメ「無限戦記ポトリス」のようなロボット形体への変身「ポトリス・ライズ!」は行えず、オンラインゲーム「ポトリス」のようにタンク形体のみで戦うことになる。

「R/Cポトリス」での各タンクの性能は、オンラインゲーム「ポトリス」でも、テレビアニメ「無限戦記ポトリス」でもそうであるように、わずかずつ違いがある。たとえば、「ドラゴンブルー」は、砲弾数が無制限で扱いやすいが、走行スピードは遅く、被弾耐久回数も少ないので、狙われやすくやられ

やすいといえる。「デュアルロゼ・キャリアー」は、「ドラゴンブルー」よりも速く走れ、耐久性も高いが、砲弾数はわずか15発しかない。性能的には「ドラゴンブルー」を上回るが、無駄弾を使えないという難しさがある。見かけだけではなく、各タンクには一長一短が設定されているのである。

タンクの砲弾には、赤外線が使われている。「R/Cポトリス」の各タンクは、手のひらサイズという小ささだが、赤外線なのでその射程は長く約80cmもある。もちろん、それは見通しのよい場所でのことで、タンクよりも背の高い障害物の陰に隠れれば、赤外線による砲弾が当たることはない。

「R/Cポトリス」は、数台での対戦が前提となっているが、付属の「トルーパーターゲット」を使えば、一人でも楽しめる。反射板を付けた「トルーパーターゲット」は、赤外線を反射するので、練習モードで射撃練習を行えるのだ。



「R/Cポトリス」には、タンクとコントローラ、それに練習用のターゲットとして使える「トルーパーターゲット」が含まれる。